

報道関係各位

2026年2月10日

株式会社ひらく

株式会社ひらく、

“人柄が入口になる夏目漱石の文学ミュージアム”**「夏目パージアム」（2026年2月11日開業）を全面プロデュース****～漱石ゆかりの地・熊本の新たな観光拠点を目指す～**

株式会社ひらく（代表取締役社長：染谷 拓郎、<https://hiraku.info/>、以下ひらく）が全面プロデュースを手がけた文化施設「夏目パージアム」が、2026年2月11日（水）、熊本県熊本市中央区下通にオープンします。



「夏目パージアム」は、“人柄が入口になる夏目漱石の文学ミュージアム”をコンセプトに掲げる、文豪 夏目漱石の人物像・人柄にフォーカスした新感覚の文学ミュージアムです。約3年間の構想期間を経て、漱石来熊130周年を迎える2026年にオープンとなりました。

熊本は、漱石が第五高等学校（現・熊本大学）の英語教師として4年3ヶ月を過ごしたゆかりの地です。本施設の所在地が夏目漱石の旧居跡であるという歴史的背景も踏まえ、漱石の人となりや熊本との関係がわかるエピソード、人気の現代作家が書き下ろした「新訳 草枕」の展示や、AIを活用して漱石と会話ができる「聞いてください！夏目先生」などを通して、誰もが気軽に楽しめ、文学好きもほかにない体験ができる施設となります。また、本施設を擁する「HOTEL TAU, KUMAMOTO」に加え、施設エントランスに観光案内所の機能をもつことで、熊本市内の新たな観光拠点となることを目指します。

ひらくは、本施設の開業にあたり、施設名称およびコンセプトの策定から、館内での体験設計やクリエイティブディレクション、オリジナルグッズの開発、運営支援まで全面的にプロデュースしました。なお、本施設は昨年10月にリブランドオープンした「HOTEL TAU, KUMAMOTO」（旧サンルート熊本）の1階にあり、ひらくは同ホテルのリブランドもプロデュースしています。

また、「HOTEL TAU, KUMAMOTO」へのリブランドおよび夏目パージアムの開業は、産学金官の連携で地域の新規ビジネス創出を支援する、総務省主導の「ローカル 10000 プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金）」において、熊本市の事業者では初の採択事例となっています。

※参考：HOTEL TAU, KUMAMOTO リブランドのプロデュースに関するプレスリリース

<https://hiraku.info/news/2653/>

■プロデュース内容とポイント

① 「パージアム」という造語の名称と、コンセプト策定

“Perseum (パージアム)”は、Personality (人柄) と Museum (博物館) を掛け合わせ、ひらくが名付けた造語です。思いがけない共通点や、ふとした瞬間に見えた人柄をきっかけに人との距離が縮まることに着想を得て、“人柄が入口になる夏目漱石の文学ミュージアム”をコンセプトとしました。文豪・夏目漱石のパーソナリティを入口に、より気軽に、そして深く文学に親しめる新しい文化体験を提案します。

② 漱石と知り合い、自然に心が開いていく体験設計

夏目パージアムは、HOTEL TAU, KUMAMOTO の 1 階エントランスを抜けた先にあります。

約 35 m²の空間を 5 つのエリアに分け、「パーソナリティを知る」「作品の世界に触れる」「漱石と話してみる」「作品を読む」「興味を広げる・深める」というステップで、一人の生きた人間としての漱石の姿を知り、そこから彼の作品世界へ理解を深めていく体験設計としました。

時の流れとともに変化する漱石の口髭に触れてみたり、漱石が 1 ヶ月に食べたと推測されるジャムの量を目の当たりにして驚いたり、漱石との何気ない会話を楽しんだり。来場者と漱石を直感的に結びつける、学びにとどまらない心躍る体験で、漱石や熊本に対して自然と心が開いていくような展示企画を、親しみやすいクリエイティブデザインで実現しました。

また、開業時には、企画展エリア（不定期入換）にて、第 1 回企画展「100 人による、私だけの漱石。」を開催しています。「あなたにとって漱石はどんな存在ですか？」という問い合わせに対して集まった著名人や地域の読者など総勢約 100 名のコメント・エピソードを展示し、身近な人々の眼差しを通して、さまざまな漱石の姿も楽しめます。



▲好物を夫人が戸棚に隠していたというエピソードにちなんだ展示什器



▲ファッショングッズや筆記具の好みを紹介する展示には口髭に触れてみることのできるコーナーも

③ さまざまな領域で活躍する現代クリエイターの起用

漱石をより近くに感じられる体験を実現するため、展示物の製作にあたり、熊本大学五高記念館元客員准教授で、現在は玉名市草枕交流館の館長をつとめる村田由美氏による監修のもと、株式会社オンドデザイン、豊島宙氏、株式会社 KASSEN、株式会社コネル、最果タヒ氏、香日ゆら氏など、さまざまなジャンルで活躍する現代クリエイターを起用しました。最果タヒ氏が第1章・第2章を書き下ろした「新訳 草枕」は、展示するだけでなく、原文と新訳を一冊の本に書籍化してオリジナルグッズとして販売するとともに、次の作家が書き継ぐリレー形式をとっています。

■村田由美（玉名市草枕交流館館長・熊本大学五高記念館 元客員准教授）

熊本の漱石を知るのに最適の場所に夏目パージアムがオープンした。ここは漱石が初めて家庭を持った場所。妻鏡子が、生涯漱石を慕い、多くの教え子たちが漱石を師として仰いだ秘密がここを訪れた多くの人にわかるような、そんな場所になることを願っています。

■香日ゆら（漫画家）

夏目パージアムのオープン、誠におめでとうございます。熊本市には多くの漱石ゆかりの地が点在しますが、それらを結ぶ拠点となるような施設が生まれたことを、一漱石ファンとして大変嬉しく思います。すでに漱石を好きな人はもちろん、これまで漱石を意識することのなかった人も気軽に立ち寄り、熊本と漱石の関係にふれることができる。そんな場所になることを期待しています。

■最果タヒ（詩人）

夏目漱石の文章は私にとって静かにそこにある湖のようです。端正であるのに、そこにはいつも、ゆらぎがある、人の心臓の音のような、何かが聞こえる。湖面が、人の目ではわからないほど、小さく淡く波打っている。確かに、人の手で書かれたものだと、そのゆらぎを感じるたびに思うのです。私はそのゆらぎが好きで、そうしてゆらぎを、自分の言葉の中にも、呼吸として、残していくことを大切にしたいと思いました。とても緊張するけれど、澄んだ心地よい空気の中を、泳げたような気がします。よかつたら、読んでみてください。

【施設概要】

名称 : 夏目パージアム (NATSUME PERSEUM)

住所 : 熊本県熊本市中央区下通 1-7-18 ホテルタウ熊本 1F

営業時間 : 10:00~18:00 不定休

利用料 : 大人 1,000 円、中高生 500 円、小学生以下無料、障害者手帳をお持ちの方は 500 円
※いずれも税込価格

※ホテルタウ熊本宿泊者は無料

公式サイト : <https://tau-kumamoto.com/>

公式 Instagram : [@ hoteltaukumamoto](https://www.instagram.com/@hoteltaukumamoto)

運営 : 株式会社谷脇ビル (代表取締役社長: 佐藤 達郎)

■展示内容（抜粹）



※写真（左上から右下の順）

- ・展示入口、漱石の人柄エピソードⅠ：漱石の性格
- ・漱石の人柄エピソードⅡ：甘党の文豪・夏目漱石、Ⅲ：漱石の一日
- ・漱石の人柄エピソードⅤ：3つの教師時代
- ・漱石作品の装幀（初版本復刻版の展示）
- ・漱石シアター「ある猫の白昼夢」
- ・聞いて下さい！夏目先生（AIを活用した夏目漱石との会話）
- ・新訳「草枕」の世界
- ・企画展「100人による、わたしだけの漱石」

■会社概要

「人と文化のつながりを大切にして、すべての人の心に豊かさを届ける」を経営理念に掲げる日販グループホールディングス株式会社（代表取締役社長：富樫建）のグループ会社です。本のある場所や空間の価値を再定義し、本をはじめとした文化的コンテンツを用いて、生活者が暮らしの豊かさ・楽しさを感じられる場づくりに取り組んでいます。「文喫事業」「プロデュース事業」「公共プレイス事業」の3事業を軸に、“文化を喫する、入場料のある本屋”「文喫」の運営のほか、「雑誌の図書館COVER」、まちの本屋＆ホテル「ねをはす」のプロデュースなどを手がけています。

会社名 : 株式会社ひらく (HIRAKU Inc.)
URL : <https://hiraku.info/>
代表者 : 代表取締役社長 染谷 拓郎
所在地 : 東京都千代田区神田駿河台 4 丁目 3 番地
設立 : 2022 年 4 月 20 日
事業内容 : 文喫事業、プロデュース事業、公共プレイス企画事業
企業理念 : 場と機会をつくり、うれしい時間を提供する

ひらく

本件に関するお問い合わせ

株式会社ひらく プロデュース事業部 担当 : 深井、上田、奈良部
TEL.03-3233-4802 E-mail : hiraku@nippan.co.jp

報道関係の方のお問い合わせ

株式会社ひらく 事業統括部 広報担当 : 陳之内、浅野
TEL.03-3233-3829 E-mail : press@nippan.co.jp